

宇和海で楽しむ春の船旅

池田 良徳 (大阪経済法科大学)
(客員教授) の

新クルーズ **学**
 ▶35◀



前回はGOTOフェリーと題して、宿泊設備船も各地にあります。

があつて1泊の船旅の楽しめるフェリーについて

書きましたが、今回はもっと手軽に楽しめるクルーズを紹介し

ます。桜の季節になり各地のお花見船が賑わって

います。また琵琶湖も海開きとなり、在来型貨客船の

「しらさぎ」は1日1便だけ運航を始める、鳴門の渦潮

を見る観潮クルーズもシーズンを迎えています。

こうした1時間程度までの遊覧船もいいですが、

もう少し長時間のゆっくり島々に点在する集落に

つひとつ寄港して、人や荷物が運搬される様子

には、道の駅などとオア

シスうわじまがあり、物産品の販売だけでなく、

地元料理が食べられるフートコートがあります。

お勧めは宇和島風たい飯です。ご飯の上に、タレ

を絡めた鯛の刺身と卵黄を乗せた絶品です。

満腹になって、ビール縫うように航海します。

とつまみを持って「しらさぎ」に乗船しました。

絨毯敷きの客室が上下に2層あり、上部客室の横

見ながらの航海なので

です。ある港では、プロパ

ンガスの大型ポンベを大

量に降ろし、ある港では

宅配便らしき荷物を積み

込んでいました。島民の

多くは速い高速船を利用

しますが、時間はかかり

ますが安くてデッキにも

出られる在来船を選ぶ島

民もおり、カメラ片手に

デッキにたたずむ筆者に

不思議そうな視線を送り

ます。きつと観光で乗る

人は珍しいに違いありま

せん。

船の中には、レストラ

ンほもちろん売店も自動

販売機もあります。従

って、乗船前に食事をし

て、船上での飲み物も購

入して乗る必要があります。

船が出るのは宇和島新

内港で、その乗り場の横

のドアから外部デッキに

出られます。デッキには

長椅子がひとつだけ。天

気も良かったので、ここ

に陣取って4時間の航海

を楽しみました。船は、

津々浦々に養殖ブイが浮

かぶりアス式海岸の海を

選定されています。

船が最後に寄る日振島

は、かつての海賊の島と

して有名です。平安時代

に海賊征伐に向かった藤

原純友が、自ら海賊をた

ばねて朝廷に対抗して反

乱を起こした本拠地とな

った島です。

今回楽しんだのは、船

から降りずに宇和海を1

周する船旅でしたが、島

で降りて散策してから船

を乗り継ぐアイランドホ

ッピングも可能です。た

だ、一度降りると料金が

高くなるのと、便数が少

ないので帰れなくなるの



宇和島新内港に停泊する「しらさぎ」